

(配布先)
支店長・副支店長
施工担当部署長、建設所長
副部長・副所長・統括工事長
安全長・安全主任
工事長・工事主任
関西支店取引業者災害防止協議会

事務連絡（安-2025-29）
令和7年8月29日

関西支店 安全環境部長

くさび緊結式足場を扱う際の注意事項について(要請)

過日、他支店新築工事作業所において、ユニット（1スパン2段）で荷降ろししたくさび緊結式足場の解体作業中、下段の手すり・中さんが外れた状態のまま上段の手すり・中さんを外したため、足場が倒壊し作業員が下敷きになるという休業災害が発生しました（別紙参照）。幸い命に別状はありませんでしたが、重篤な災害になっても不思議ではない事案です。

調査の結果、上段の作業員は、くさび緊結式足場の手すり・中さんが、枠組足場における交さ筋かいと同様の役割を担っていることへの理解が不足していたことが判明しました。

つきましては、同種の災害等を防止するため、下記事項について作業所関係者に周知するよう要請します。

なお、ミルックス保有の次世代足場（アルバトロス）についても、同様の事象が発生する可能性があるため留意してください。

記

1. くさび緊結式足場の手すり・中さんは「枠組足場における交さ筋かいの役割を担っている」ことを理解させること
2. 組立・解体の作業手順を十分理解している者の適正配置を実施させること

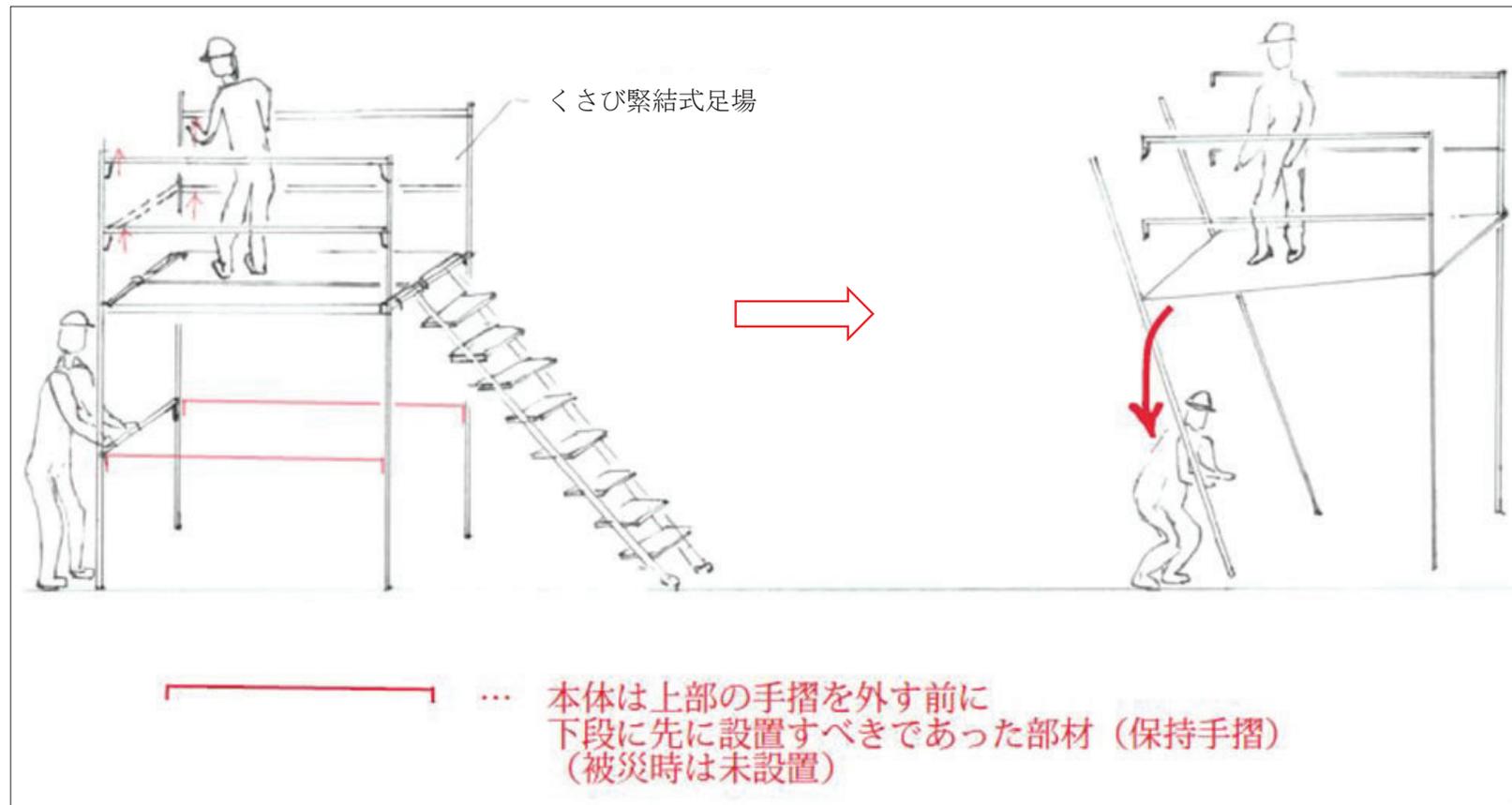
※この事務連絡は、事務連絡（安環安）25-23(令和7年8月27日)安全環境本部発行に基づき作成しました。

以 上

(倒壊) 足場解体中に手順を誤り足場が倒れ、足場材の下敷きになる

◇ 発生日時 : 2025年8月8日 (金) 午前9:10分頃

◇ 被災者 : 鳶工 51 歳 (所属 1次) 経験 34年



【発生状況】

敷鉄板上で、ブロック解体したくさび緊結式足場 (W900 × D1800 × H1700) を2名で解体作業中、作業手順を間違えて足元の保持手摺を取り付ける前に、桁方向の手摺4本を外してしまったため足場が不安定になって倒壊し、下部にいた被災者が足場材 (アンチ) の下敷きとなった。(第12胸椎椎体骨折) (休業見込日数90日)